

山形ビエンナーレ2018  
山形国際ドキュメンタリー映画祭2019 プレイベント

山形市シネマ通りに映画と対話の灯が灯る。



9.7 [Fri] 19:00  
ドンキー・ホーテ

監督: チコ・ペレイラ / 86分

荒井良二 (アーティスト・絵本作家 / 山形ビエンナーレ芸術監督)  
+  
ドキュ山ユース  
(山形国際ドキュメンタリー映画祭高校生ボランティア)



9.14 [Fri] 19:00

幸福は日々の中に。

監督: 茂木綾子、ヴェルナー・ペンツェル / 73分

茂木綾子 (写真家・映画監督)  
+  
福森伸 (しょうぶ学園園長)



9.21 [Fri] 19:00

頑固な夢

監督: ソボリッチ・ベアラ / 93分

根岸吉太郎 (映画監督 / 東北芸術工科大学理事長)  
+  
日下部克喜 (山形国際ドキュメンタリー映画祭事務局長)



シ  
ネ  
マ  
通  
り  
の  
夜

at KUGURU (山形市七日町 とんがりビル1F)

[料金] ワンドリンクつき1回券 (作品指定) 前売1,200円 / 当日1,500円  
山形ビエンナーレWebサイトにてご予約受付中  
<https://biennale.tuad.ac.jp/live>

※前売券、当日券ともに当日会場受付で現金支払いとなります。

[企画] 認定NPO法人 山形国際ドキュメンタリー映画祭、堀賢一郎

[協力] 福森伸 (しょうぶ学園)、相澤久美 (サイレントヴォイス)

[問合せ] 山形国際ドキュメンタリー映画祭事務局 (Phone: 023-666-4480)

9.7[Fri] 19:00


## ドンキー・ホーテ



山形国際ドキュメンタリー映画祭2017 インターナショナル・コンペティション  
監督:チコ・ペレイラ/スペイン、ドイツ、イギリス/2017/86分

南スペインの小さな村で質素な生活を送っていた73歳のマヌエルは、残りの人生をかけた壮大な旅を決意する。愛するロバと犬を相棒に、スペインからアメリカへ！ 過酷な冒険と動物たちとの友情。老いてなお自由に「ありのまま」を生きる姿を讃えるロードムービー。

[トーク] 荒井良二(アーティスト・絵本作家/山形ビエンナーレ芸術監督)

ドキュ山ユース(山形国際ドキュメンタリー映画祭高校生ボランティア)  @Docuyama\_youth

9.14[Fri] 19:00

## 幸福は日々の中に。



監督:茂木綾子、ヴェルナー・ペンツェル/日本/2016/73分

楽器を弾き、叩き、叫ぶ。ひたすら布と糸と遊ぶ。きれいな事ではすまされない福祉事業の運営において、鹿児島しょうぶ学園が取り組んできた活動は、今を生きる私たちにさまざまな問いを投げ掛ける。普通ってなに？ 優しさってなに？ 改めて自らを見つめなおす73分。

[トーク] 茂木綾子(写真家・映画監督)、福森伸(しょうぶ学園園長)

9.21[Fri] 19:00

## 頑固な夢

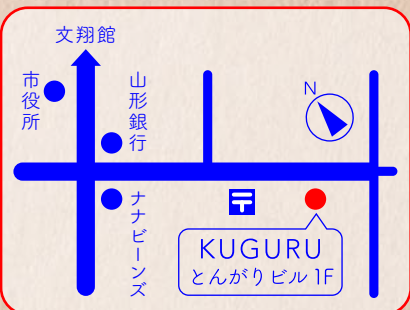


山形国際ドキュメンタリー映画祭'91 インターナショナル・コンペティション  
ロバート&フランシス・フラハティ賞(大賞)

監督:ソポリッチ・ベアラ/ハンガリー/1989/93分

ハンガリーの小さな村の70年にも及ぶ演劇サークルの活動。団員の多くは素朴な普通の、辛い労働をしてきた人々で、彼らの顔や手にはその歴史が深く刻み込まれている。古風なロマン主義とノスタルジアが漂う村の祭りは、芝居の上演で頂点に達する。

[トーク] 根岸吉太郎(映画監督/学校法人東北芸術工科大学理事長)、日下部克喜(YIDFF事務局長)



## 山形国際ドキュメンタリー映画祭

1989年にスタートし、2年に一度(山形ビエンナーレと交互)山形市で開催される映画の祭典。世界中から映画と人が集まります。今回は2019年10月に開催予定。映画祭期間以外にも、郊外にあるドキュメンタリーフィルムライブラリーでの「金曜上映会」などの上映会や、映像ワークショップなども行なっています。

[www.yidff.jp](http://www.yidff.jp)

みちのおくの芸術祭 山形ビエンナーレ2018 Biennale.tuad.ac.jp

9.1[Sat]-24[Mon] 期間中の〈金・土・日・祝日〉のみ開催 主催:東北芸術工科大学